

令和2年第21回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 令和2年11月24日（火） 於：特別会議室

II 開会時間： 14時00分（中断：14時55分～16時）

閉会時間： 17時15分

III 出席委員： 教育長 妹尾 均 教育長職務代理者 妹尾 恵美
委 員 太宰 実千代 委 員 加藤 正枝
委 員 野田 洋二

IV 欠席委員：

V 出席者氏名： 教 育 次 長 藤原 敬一
教育総務課長 山内 祐樹 学校教育課長 住田 義広
就学前教育課長 牧野 真哉 社会教育課長 大塚 英一
（書 記） 清山 智保

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

令和2年第20回教育委員会会議（R2.11.4）の議決事項等について

教育長報告：鉾立小学校の木造校舎の耐震化について

議 事：なし

協 議：GIGAスクール構想の実現に向けた計画等の確認について

そ の 他：令和2年度第1回教育委員懇談会について ほか3件

（承認）

3. 教育長の報告 玉野市内の新型コロナウイルスの感染確認について

- (妹尾教育長) 玉野市内で10代男性の感染が確認された。詳細は学校教育課長から報告する。
- (学校教育課長) 21日土曜日に校長から学校の児童・生徒の感染が確認された旨の報告があった。保健所によると感染経路は不明、校内の濃厚接触者なし、施設消毒の必要はなしということであった。学校と協議し、念のため教職員等で校内の消毒を実施した。また、臨時休業は行わず、本日から通常どおり授業を行っている。本日臨時校長会を実施した。該当校の本日の状況としては、30名程度、感染不安による欠席者がいた。
- (妹尾委員) 保護者の立場として学校経由でメールが届き、市内で感染者が出た情報は入った。すぐに市のホームページを確認したところ、市長のメッセージは出ていた。教育長のメッセージも同じくらいのタイミングで掲載された方が良かったと思うがどうか。校長会で説明した後に掲載するという段取りだったのか。
- (妹尾教育長) ホームページの掲載については出来るだけ早急にするようにする。
- (加藤委員) 私は、会社の社員からメールを見せられ内容を知った。教育委員会として発出するのであれば、教育委員にも事前にどのような通知を出したのかを情報提供をしてもらいたかった。
- (太宰委員) 私も孫の学校からのメールで知った。教育委員会という名前で通知を出すのであれば、事前に教育委員にも知らせたかった。毎回、新聞報道等で情報を知るといのはどうかと思う。いつも情報が出た後から教えられている感じがする。
- (学校教育課長) 大変申し訳なかった。以後はある程度他課の力を借りて対応させてもらう。
- (妹尾教育長) 今回の対応としては反省すべき点がたくさんあった。今後の対応に生かせるよう考えていく。

4. 議 事 なし

5. 協 議

(1) 「令和元年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」について

- (教育総務課長) 初稿でご指摘いただいた点を修正し、有識者の意見を加えた。完成版を議会に提出する。

(2) 玉野市立学校の今後の方向性について

(学校教育課長) 資料により説明

全国で義務教育学校や中等教育学校などの新しい形の学校が設置されている。岡山県内では、岡山市の山南中学校区で義務教育学校が2022年度開校予定である。県下で初めての義務教育学校である。美咲町でも2024年度に設置予定と聞いている。子どもの抱える課題の多様化や激動するこれからの社会を生きる力の育成のため、一貫教育のさらなる充実が全国的に求められている。本市においても中学校区一貫教育を実施しているが、義務教育学校はその一つの到達点と考えている。教育的視点で見ると目指す一つの形と考える。

現在、文部科学省では令和4年度を目途に小学校5、6年生の教科担任制の導入に向け進んでいる。義務教育学校ではそのようなことについても対応がスムーズになると考える。

玉野市でこのような形の学校を設置することについてどのように思われるか議論いただきたい。

(妹尾教育長)

地域懇談会でも同様の説明をしている。すぐに義務教育学校を目指して動いていくというわけではないが、これからの市立学校のことを考えていくにあたり、義務教育学校を一つの形として検討していくべきかどうかということについてのご意見を伺いたい。

(妹尾委員)

地域懇談会に参加し、皆さんの反応や感触を聞いてみた。児童数の少ない地域では、小学校から中学校まで一緒になるとより人数の多い環境となり、上の学年が下の学年の面倒を見るというのは子どもたちにとってもいいのではないかという反応であった。先生の働き方改革や教科担任制の実現にもつながり、私自身はいい方向に進めばよいと思っている。地域差があるため、大きな学校ではどう考えるかというのは地域で議論していく必要がある。

(野田委員)

地域懇談会でも賛同する意見が出ていた。来年度からでも試行してみてもどうか。

(学校教育課長)

検証してみることは大事である。小規模校の統廃合の手段の一つということではなく、より充実した教育を提供する学校を作ることが大前提である。大きな学校でも試行してみるといいのではないかと考えている。色々な学校で試行してみて、いい面が多いということであれば、正式に設置に向けて動いていくのがいいのではないかと考えている。

(加藤委員)

小規模校の義務教育学校となると利点もあるかもしれないが、反対に9年間児童生徒が変わらないというので、いじめ等があったときに払拭する環境が現れてこないという心配がある。中学校に進学するときに複数の学校から生徒が集まることで環境

が変わることがある。少人数が少人数のままになるというリスクがあると思う。義務教育学校にするのであれば、ある程度の子ども的人数が必要と考える。

- (学校教育課長) 各学年2クラス以上ある義務教育学校が理想である。
(加藤委員) 小規模が小規模のままというよりは、複数の学校が集まってある程度の規模の義務教育学校になるのがいいと思う。
(太宰委員) 皆さんが言われたメリット・デメリットそれぞれがそのとおりであると思う。
(妹尾教育長) 義務教育学校についても検討を進めながら、一つの方向性として考えていくということによいか。
(各委員) 異議なし

(3) 激励金支給事務取扱要項について

- (学校教育課長) 平成31年4月に教育委員会で協議し、市内県立高校の部活動に対する激励金の支給を除外したところであるが、この度玉野光南高校が春高バレーに出場することになり、市長や議会からも県立高校も支給対象としてはどうかという意見があった。市教委の施策として市内の学校間の連携を進めており、市内県立高校との連携をさらに深めていきたいと考えている状況であり、再度激励金の支給について検討したいと思う。改正の内容としては、県立高校への激励金の支給を以前のとおり復活させることと、文化芸術活動等についてはスポーツとあわせて新たに設定するものである。
- (野田委員) 市内県立高校にも以前のように激励金を支給していいのではないか。
- (妹尾教育長) スポーツについて改正前に戻し、文化・芸術活動については新設することによいか。
- (各委員) 異議なし

6. その他

(1) 玉野市公立学校等施設整備計画事後評価について

- (教育総務課長) 資料により説明

(2) 玉野市立児童館指定管理者の選定結果について

- (社会教育課長) 資料により説明

(3) 第4次玉野市子ども読書活動推進計画(案)について

- (社会教育課長) 資料により説明
1月にパブリックコメントを募集、2月に最終案を教育委員会に報告、3月に総務文教委員会に報告、4月に施行予定である。
- (野田委員) 各学校と市立図書館はオンラインで接続できるようになっているのか。
- (社会教育課長) 直接オンラインで接続できるようにはなっていない。第4次計画の中では学校図書館の蔵書をより利用しやすくする機能の導入について検討することとしている。
- (野田委員) 今後整備する予定ということか。
- (社会教育課長) 予算のこともあるので、計画では検討ということにしている。学校からはインターネットで市立図書館の蔵書検索は可能である。第4次計画では全体的な市のネットワークについて検討していくということである。

(4) 令和2年度12月補正予算の概要について

- (社会教育課長) 資料により説明
- (教育総務課長) 資料により説明
- (野田委員) 校内ネットワークを整備をしていると思うが、体育館は整備していないのか。
- (教育総務課長) 体育館については当初の整備計画には入れることができなかった。校長裁量で執行できる学びの保障総合対策事業の予算を活用して体育館のネットワーク整備を希望した10校については今後整備する予定である。
- (野田委員) 全校を整備することはできないのか。
- (教育総務課長) 総額がかなり大きくなるため既存予算では難しい。

(5) 令和2年12月/令和3年1月 月間行事予定について

- (教育総務課長) 資料により説明

